

GP GIRARD-PERREGAUX

HAUTE HORLOGERIE SUISSE DEPUIS 1791

ジラルール・ペルゴは、新素材「カーボングラス」を発表 高度な時計製造業における新素材

世界で初めて、美しさと機能性を兼ね備え、革新というメゾンの伝統に基づく、非常に均整の取れた均質な仕上がりのカーボンを発表します。

この素材はスチールの 100 倍の硬度を持ち
材質の独特の特性により、高い気密性も備えています。
ブルーの着色グラスファイバーとの組み合わせにより
躍動感に溢れる素材です。

「アース・トゥ・スカイ」をテーマとしてジラルール・ペルゴは、無限、光と影の相互作用、その間のミステリーに目を向けました。この新しいアプローチにより、地球と空、物質と空間の間で対話を開始させます。そして、メゾンの特徴である時計の仕上げ技術の科学を、新しい視点からお見せします。

洗練され、躍動感に溢れた、独特の色合いのカーボングラスは、防水性と耐久性にも優れ、軽量の新しい種類のカーボンです。広範囲にわたる研究の成果であるカーボングラスは、最先端の素材を作り出すという決意から生まれました。硬度が極めて高く、わずかにブルーに着色され、今年のテーマ「アース・トゥ・スカイ」を体現する、この素材には卓越した美と技術が備えられています。

カーボングラス開発の中核をなす高性能

この素材は特許をしており、その製造工程で重要なのは、高温注入での圧縮です。その結果として、最適な均質性を持つ物質が得られます。目に見える躍動感を持つ特異な質感は、カーボンと結合したグラスファイバーを組み込むことで生み出されます。それぞれの仕上がりが独特であるために、最終的には時計が独自の特徴を持つこととなります。

この技法における革新は、素材の不透過性によって実現された完璧な防水性です。このレベルの防水性を実現したカーボン製造手法は他にありません。ここでは、素材の圧縮が重要です。圧縮により、均整の取れた均質な構造になるために密度が高くなり、それによって完璧な防水性が確保されます。

美的観点では、他の用途のカーボンとは対照的にすべての面が滑らかで均質になることです。今回は、ブルーのグラスファイバーを使用して着色していますが、他の色合いも可能です。また、代わりにゴールドなどの他の材質も使用できます。

もう 1 つの革新は、驚異的な硬度です。他の種類のカーボンでは実現されていません。カーボングラスの硬度は、スチールの 100 倍です。さらに、その用途は単に美しいパッケージにとどまりません。密度がほぼ 1 であるため、実際に水に浮かびます（スチールの密度は約 8、チタンの密度は 4.5 です）。

今回の SIHH 2019 では、この新素材が新しいロレアート アブソルート クロノグラフという形で特別プレビューとして発表されます。

Press Kit
SIHH 2019

GP
GIRARD-PERREGAUX
HAUTE HORLOGERIE SUISSE DEPUIS 1791

■本リリースに関するお問合せ先：
ソーウインド ジャパン
マーケティング&コミュニケーション マネージャー 金子雅美
TEL: +81-3-5211-1791
masami.kaneko@sowind.jp